

わたしの通学路はかつて銅を運ぶ鉄道だった

## 新居浜市 別子銅山 自転車道と旧下部鉄道跡

かつて世界でも有数の産銅量を誇り、日本の近代産業を支えた別子銅山。海拔1,000mを超える山中深くに日本初の山岳鉱山鉄道となる別子鉱山鉄道の上部鉄道が敷設された。銅山からさらに麓へ索道を繋ぐ。そして海岸部へと別子鉱山鉄道の下部鉄道を延ばし銅を運んだ。日本の近代産業を支えた銅の輸送路「あかがねの道」は、遊歩道に姿を変え、銅山（やま）を支えた鉄道マンOBらによって植栽された四季折々の草花が彩りをそえている。通勤・通学路、散歩道やランニングコースとして「市民生活の道」となり、歴史と人々の生活を繋ぎ、現在（いま）も日常にある。これが私の通学路。銅山（やま）からの息吹を感じながらこの道を明日へ向けて自転車を漕ぐ。